

伊豆箱根鉄道アフラック代理店による アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度への寄付について

伊豆箱根鉄道株式会社(所在地:静岡県三島市、代表取締役社長:伍堂 文康)は、5月5日(金・祝)に伊豆箱根鉄道 大雄山駅で開催された「行くべーよいずっぱこ大雄 キッズ&ファミリーフェスティバル」において、生活事業部保険課のブースで実施したゲームの収入を、代理店業務委託契約を締結しているアフラック生命保険株式会社(所在地:東京都新宿区、社長:古出 眞敏)湘南支社を通じて高校生を対象とした奨学金制度に寄付いたしました。

当保険課は、2014年から同イベントにブースを出展し、募金活動を継続してきた結果、募金総額の合計は今回の募金を含めて157,786円となりました。

今後も当活動を継続することにより、一人でも多くの小児がん経験者、がんで親を亡くした遺児の助けになればと考えております。

これについて、アフラック湘南支社の河野堅太郎支社長に生活事業部保険課長加藤由美より募金箱を手渡します。

詳細については下記のとおりです。

記

1. 日 時 6月16日(金) 16時00分
2. 場 所 アフラックサービスショップ小田原駅店
神奈川県小田原市栄町1丁目1-5
3. 募金内容 5月5日(金・祝) 行くべーよいずっぱこ大雄 キッズ&ファミリーフェスティバルにて、当社の保険課が行なったイベント「ラッキーボール」の全収入 **22,768 円**
※当日の入場人員……約1,300名
(1回30円以上の任意の料金を払っていただき、3つのボールを転がして台座にあいた穴にボールを落とした個数により貰える商品が異なるゲームです。)

“アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度”とは？

“アフラック小児がん経験者奨学金”とは、小児がんを経験した高校生や、がんで家庭の主たる生計維持者を亡くし、経済的理由から修学や進学のための支援が乏しい高校生への支援を目的とした奨学金制度です。「がん遺児奨学金」として1995年にアフラックとその販売代理店組織が共同で設立した制度に始まり、これまでに3,300名を超える奨学生を支援し、累計の奨学金額は20億円を超えています(2022年6月末時点)。2014年からは、奨学生の対象に小児がんを経験した高校生を加えた「アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度」として「公益財団法人がんの子どもを守る会」が運営を開始しています。

以 上